

日々ぼちぼち



発行：〒714-1202 岡山県小田郡矢掛町小林27番地
(株)かむら堂 小規模多機能ホームぼちぼち
TEL：0866-82-2277 FAX：0866-82-2279

2014.2.1発行
第18号

このニュースレターは、(株)かむら堂 小規模多機能ホームぼちぼち とご縁のある方に贈ります。

わたしのぼちぼち

スクランのぼちぼち

みなさんこんにちは。
とうとうやって来ましたよ。
「わたしのつぶやき」と言うよ
り「わたしの歴史」コーナーが。
それでは、ゆっくりとひもとい
いきますね。私と桐岡光明
は昭和四十六年(一九七一年
)十一月に岡山県真庭郡新庄
村に生まれます。皆さんと存
じかどうか、新庄村は岡山県
県北に位置し、トンネルを抜
れば鳥取県です。私が生まれ
た当時の人口は約一四〇〇人
で主な産業は林業と農業で、
「のどか」と言うか田舎村で
かね。なもんで、お産と言っ
たら、サー大変。村の中にあ
る内科の診療所のみ。一番近
い産婆さんがいる所まで車で
約三〇分。私は、落合町(今
は真庭市)にある落合病院で
生まれたもので、車で約一時
間の所にあります。母親いわ
く「あんたあ産むだけで死ぬ
かと思おたわあ」と。それ
でも、母子ともに元気に退
院し、私はすくすくと言うよ
りは、田舎の空気がいいに
のんびりと育ちました。
次号では、いよいよ小学校
入学です。

(桐岡光明)



このコーナー、「何を書けばいいん
ですか?」とたずねたところ、「何
でも好きなことを好きに書い
ていいよ」とのことでした。な
ので、考えました。私の好き
なもの。色々あります。今回
は「本」にします。小さい頃
から本を読むのが好きでし
た。小学生の頃、夢中で読ん
でいたのは「千夜一夜物語」
でした。そう。開け、ゴマの
アリのババのお話や、ラン
プの精霊が出てくるアラジン
のお話、シンデレラの冒険。
自分の子どもが小さい頃、
読み聞かせをして、再読しま
したが、やっぱり面白かった
です。でも、一番好きなのは、
「ミステリー」のジャンルです。
最近読んで面白かったもの
は、月9ドラマにもなった、
「ビバリヤ古書堂の事件手帳」
です。主人公の古書店の女
店主と、本が読めない体質
のアルバイトくんが、古書に
まつわる謎を解いていくの
ですが、伏線がわかりやす
かったり、想像とは違った
切り口でどんどん返しがあ
たり、二人の恋模様も気が
なったりと、楽しめる作品
です。まだまだ続いている
ので、新刊が出るのが待ち
遠いです。

(藤原 みどり)

今月の予定

ぼちぼちニュース

今月の予定です。どなたでも自由にご参加・見学いただけますので、お気軽にお越し下さい。何もイベントが等がなくともお越し頂いて結構です。おいしいコーヒーをお出しします!

写真を見て、何をしているところか分かりますか?そうそう、焼き芋を焼いています。ぢゃなくて(汗)、とってもコンパクトな「ぼちぼち」でのとんど焼きの風景です。正月のお飾りを燃やして、竹の先にみかんを挟んで「焼き無病息災をお祈りしました。もちろん、焼いたみかんはみんなでおいしくいただきましたよ。

(村上)

- 2月3日、4日 節分
- 2月14日 誕生日会



認知症

ワンポイントアドバイス

四、介護保険など、サービスを積極的に利用しよう。

介護保険など、サービスを積極的に利用するのは当然のこと。家族だけで認知症の人を介護することはできません。サービスは「家族の息抜き」だけでなく、本人が口の介護を受けたり社会に接する大事な機会です。

五、サービスの質を見分ける目を持つ。

介護保険サービスは、利用者や家族が選択できるのが利点。質の高いサービスを選択する目が必要です。また、トラブルがあったときは、泣き寝入りせず、冷静に訴える姿勢を持ちましょう。

六、経験者は知恵の宝庫。いつでも気軽に相談を。

介護経験者が培ってきた知識や経験は、社会資源の一つ。一人で抱え込まずに経験者に相談し、共感し合い、情報を交換することが、大きな支えになります。

七、今できることを知り、それを大切に。

知的機能が低下し、進行していくのが多くの認知症です。しかし、すべてが失われたわけではありません。失われた能力の回復を求めよう。残された能力を大切にしましょう。

次号に続く。

出典元：公益社団法人 認知症の人と家族の会



ぼちぼち奮闘記

山あり谷あり笑いあり

時は3月の半ば。しだいにポカポカと暖かくなり始める頃。棟梁に洗面所の棚の件の話しをさせてもらうと、早速、寸法を測り始め、あっといいう間に広告の裏面に図面を書いた。

「こがあんなんでえんじやろおがあ？」

このぐらいの棚なんかあっちゃう間に作ったらあ？！位の勢いである。棚のお願いをして、暫くの間は日曜日以外でも日中に板を持って来て寸法をとって帰ったり、自宅では倉庫(二の中に作業場があるのだが)で板を切ったり、カンナをかけたたりされていたのを、訪問に行った職員が見かけていた。棚の材料も揃い、そろそろ組み立てへと入っていった頃、まだ材料が無いとの事。

「何がいるんでえ？」

「赤土じゃあ？」

あ・赤土？話を聞くと、洗面台と棚の隙間を、きめの細かい赤土とボンドで練ったもので埋めるらしい。という事で赤土採取の為、近くの山へ行き、あ？でもない、こ？でもないというにか採取。

「ち？でにあれも持ってかえるかあ？」

（次号へ続く。）

食べログ シーズン2

今回お邪魔したのは江良にある「手打ちうどん よし野」さんで、去年の十二月にオープンしたみたいですよ。訪れたのは土曜日の12時前で、入った時には人もまばらだったのですが、次から次へとお客さんが入って来られました。店内は細長い作りで約20人位は入れますかね。メニューなんですけど、ざるうどん350円、かけうどん350円、きつねうどん400円、肉うどん450円、各並の値段ですよ。あと、きつね寿司とおにぎりがあり価格もリーズナブル。そして、注文してから約2分位で出て来ました。は・早い！今回はきつねうどん(大)とおにぎりを頂きました。特に揚げが大きいとかじゃない普通のきつねうどんなんですけど、出汁が美味しく、うどんも固くなく柔らかくもなくで、出汁とよくからんで美味しかったです。地元感満載で、途中から相席になったんですが、地元の方とお喋りしながらの食事もうまいですよ(^o^)



編集後記

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」といわれるが、1月があっという間に行ってしまった。年頭に立てた計画も全然クリアできていないというのに。このままでは2月もあっという間に逃げていくであろう。そうならないように、気持ちを引き締めて1つ1つ確実に実行していかなければ。(汗) (村上)